

○事業所名	キッズルームばんびーに小美玉館			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 2月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数)	14名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 2月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数)	11名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な活動プログラムを駆使して、子ども達が「出来た！」と、自己肯定感をもてるように支援している。 コミュニケーション力を高めることが出来る集団活動が多めである。	子ども達が楽しく活動プログラムに参加できるよう、今の状態を観察して無理のない範囲でその子に合わせた内容に変更したりして、成功体験を増やすようにしている。 課外活動時は安全対策を最優先で、事前準備を入念に行い、常に検証を実施している。	個々の特性に応じた個別活動のプログラムを充実させていく。
2	子ども達の笑顔を大切に、寄り添った共感的な支援が出来る。	子ども達がしたいことや思っていることができるよう、子どもとコミュニケーションを取りながら言いやすい、しやすい環境作りになるよう工夫している。言葉で上手く伝えられない子には文字や絵カードで選択できるよう工夫している。	言葉でのコミュニケーションが難しい子に対しては、より視覚的支援を重視するようにしていく。
3	職員人数が多い。職員が皆経験豊富である。支援に対して一生懸命で熱意がある。	月例ミーティングでは、翌月モニタリングを行う子どもの、支援目標に対する振り返りを評価シートを用い全員で行う。 毎日のミーティングでは、前日の振り返りと共に、当日の課題等に関しても自由闊達に意見交換がされている。そのお陰で気付きが得られている。	職員間で情報共有をしっかりと行うようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の統率が取れていない。まとまりがない。	情報共有があまりできていない。 支援の方法に統一感がない。	職員間で情報共有をしっかりと行い、同じ方向性で支援する。
2	地域との関わりの機会が設けられていない。	どのような関わり方が良いか分からなかった。	地域の方々に役立つように「ゴミ拾い」等出来ることから始めたい。
3			